

Ulu —子どもが遊び学ぶ円舎—



設計主旨

現在日本では、子どもの減少が続き少子高齢化が問題となっている。

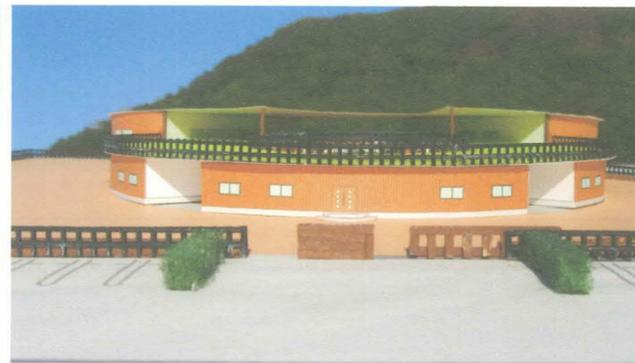
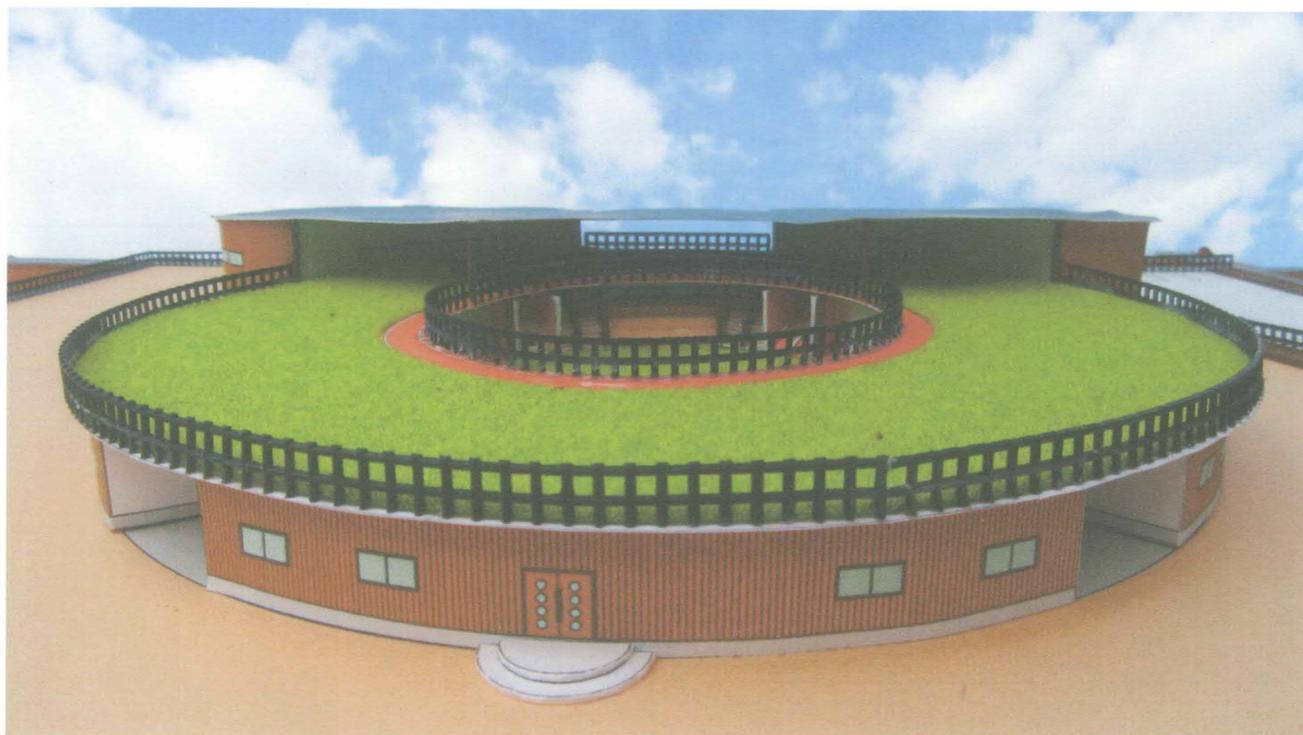
高校の合併案も進んでおり、それに伴い保育園の数も減少するのではないかと考えた。

さらに、ゲーム機等の進化により屋内で遊ぶ時間が増え、子供たちが屋内で体を動かすことや、屋外で遊ぶ時間が減少している。

そこで私は、周辺の保育園を1つにし、さらに、子どもが雄大な自然の中でのびのびと学び成長できる場、「Ulu —子どもが遊び学ぶ円舎—」を設計した。

田畑や、山に囲まれた自然豊かな西予市宇和町を設計の舞台にし、硬い、イメージを子どもに与えないよう形状を円にした。

この施設は、『遊び』『学び』『憩い』の3つをテーマとした保育園である。



『遊び』

近年ゲーム機等屋内遊びの進化により体を動かす時間が短くなってきているのではないだろうか。屋上に陸上用トラックを設けたことにより青空の下で走れる。さらに、屋内にも陸上用トラックを設け雨天時であっても走り回れるようにした。広くとった廊下は、共用保育スペースとし、ほかの年齢との交流ができる。屋上と中庭の経路を階段だけでなくすべり台やアスレチックネットにすることで移動中も遊べる。

ここで毎日体を動かし遊ぶ時間が増えることを願う。

『学び』

保育園に通うこの時期は、毎日が学びのある大切な時間になる。そこで園内で植物を育てられるようにした。そして内装や外壁、外構に多くの素材を使用することや、樹木を置くことで、普段からいろいろなものに触れて感じられるようにした。食事室で料理の音や匂い作業中の様子を見ることができる。さらに、大人数で楽しく食事ができコミュニケーションも鍛えられる。

この園の中で五感を通じて学びのある時間になることを願う。

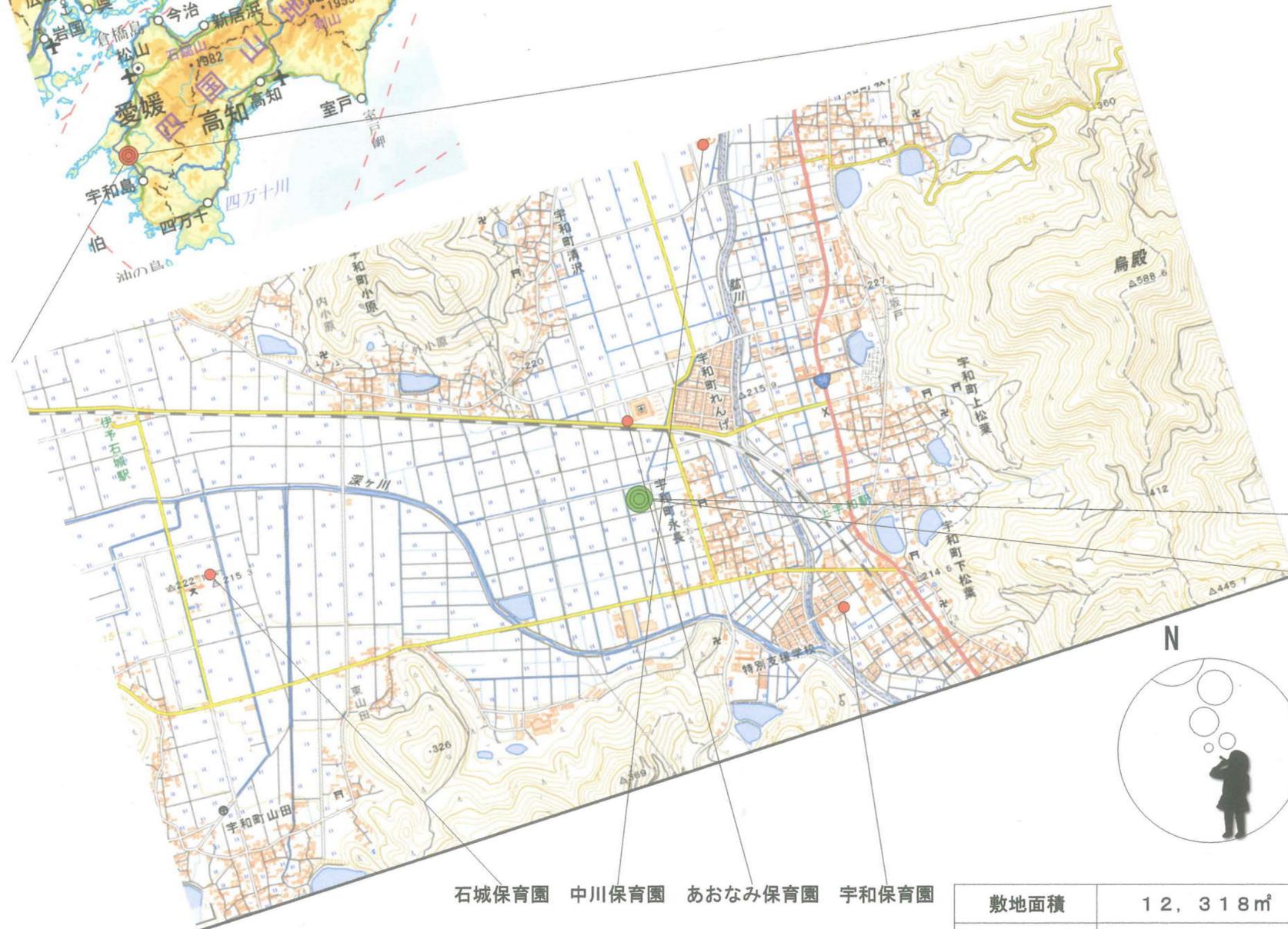
『憩い』

遊ぶだけでなく、時には休むことも必要になってくる。体だけでなく心も体も休めてほしい。そのた食事中や遊んでいる途中でも、雄大な自然を眺められるよう開口部を大きくとった。さらに、心も和ませるような庭も設けた。

心身ともにやすらいでもらうことを願う。

この建築で子供たちがすくすく成長する

有意義な時間になることを願う。



石城保育園 中川保育園 あおなみ保育園 宇和保育園

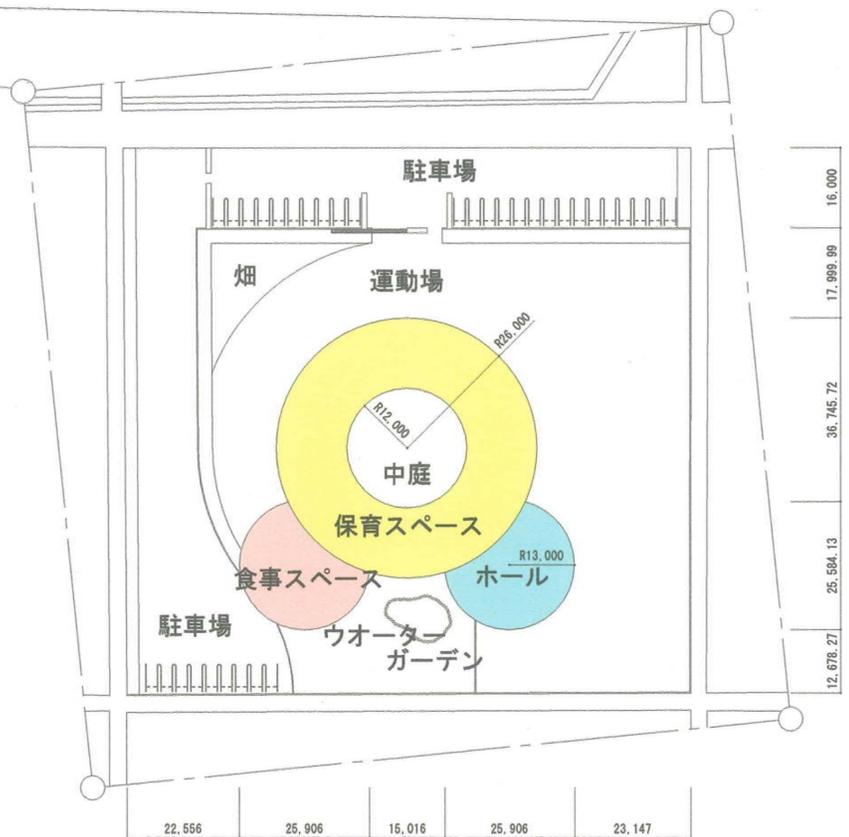
敷地計画

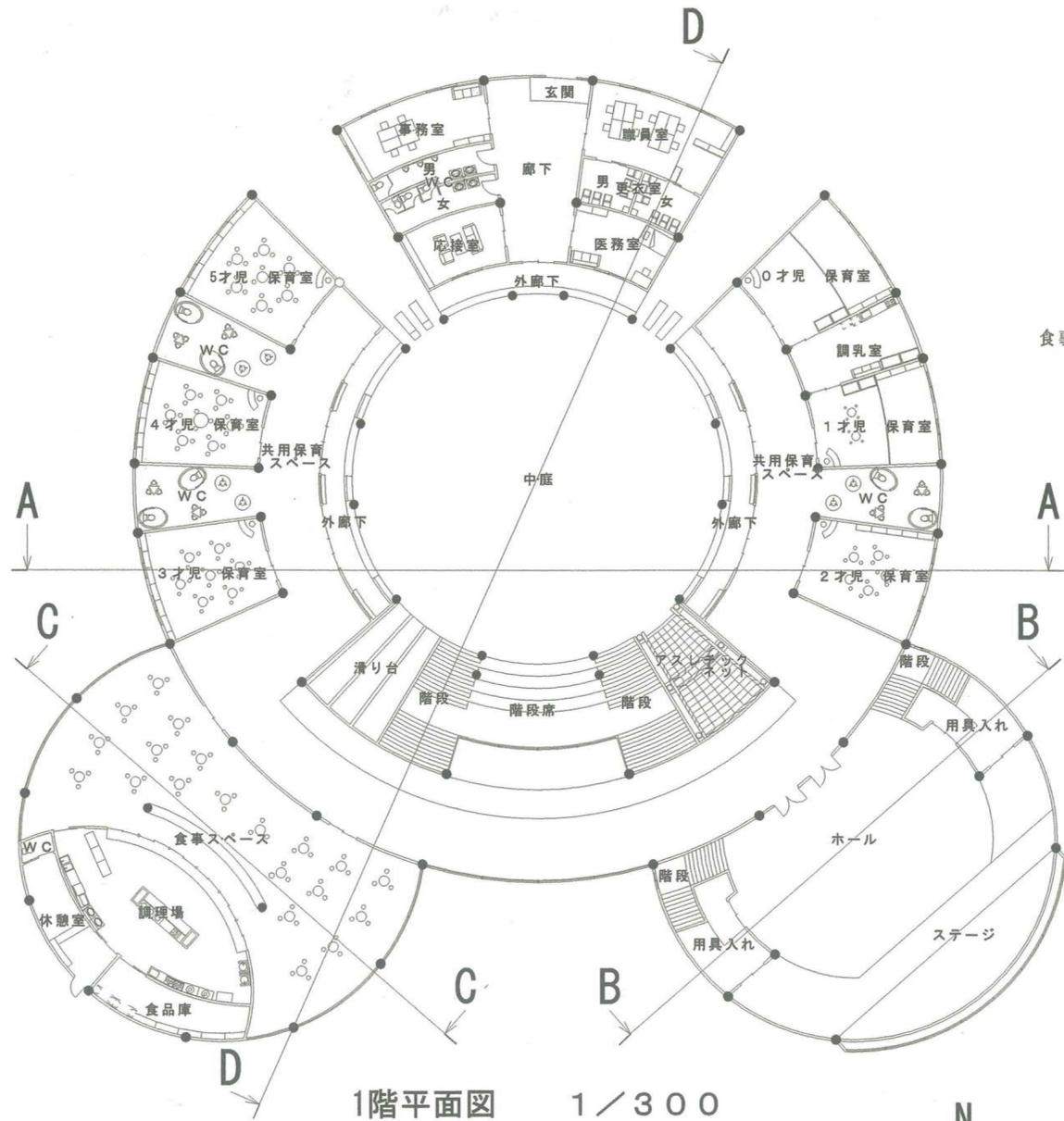
- ・ここは、山や田畑に囲まれた自然豊かな場所である。
- ・近年進んでいる高校の合併案に伴い保育園の数も減少するのではないかと考えた
- ・周囲には、石城、中川、あおなみ、宇和保育園があり、子どもの減少が進んでいる。



4つの保育園の中心に位置するこの土地に建てようと考えた。

敷地面積	12,318㎡
建築面積	2,501㎡
延べ面積	2,931㎡
構造	RC造
階数	地上2階
最高高さ	8.71m





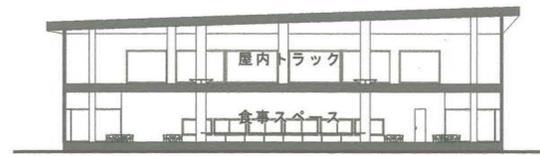
1階平面図 1/300

	収容人数	必要面積	部屋面積	保育士数
0才児	7人	3.3㎡	50㎡	3人
1才児	8人	×人数	50㎡	2人
2才児	15人	1.98㎡	50㎡	3人
3才児	22人		50㎡	2人
4才児	24人		50㎡	1人
5才児	24人		50㎡	1人
計	100人		300㎡	12人

保育園の1日の流れ

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
登園 (適宜)	自由・設定保育	昼食	午睡/休息	身支度 おやつ	自由保育/降園/ (適宜)			

食事スペース



C-C断面図 1/300

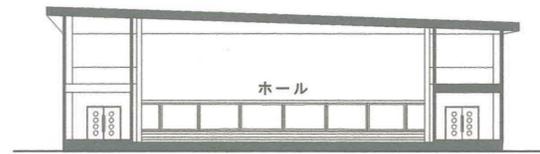
食事スペースにある調理場は、オープンになっていて料理の音や匂い作業の様子を見ることができる。

目や耳、鼻で料理の様子を感じることでより食欲増進につながる

調理場と食事スペースの間に、子どもの背丈に合わせて配膳カウンターを設置

食への関心を高め、参加をうながし自主性を高める

ホール



B-B断面図 1/300

子どもたちが集まるホール、開放感がでるよう天井を高くとった

子どもから保護者まで入れるよう2階をとった

発表会や講演会でも皆で使用し集える場

中庭



2階の窓から見える景色



開放的なキッチン



ステージ後ろに見える景色

眺めるだけでなく発表の背景としても利用可能



・この保育園の中心に位置する中庭。

・どの保育室からも見ることができ、距離が同じ

先生からの目がよくとどくため、子どもたちが安心して安全に遊ぶことができる

・階段席や屋上から中庭を見ることができる

中庭が見える位置からは、中庭全体が見える

ここで運動会を行えば保護者が子どもをよく見える



A - A断面図 1 / 150

アスレチックネット

屋上と中庭の経路を、階段だけでなく、アスレチックを設置することで遊ぶだけでなく、楽しめ、子どもの成長につながる。

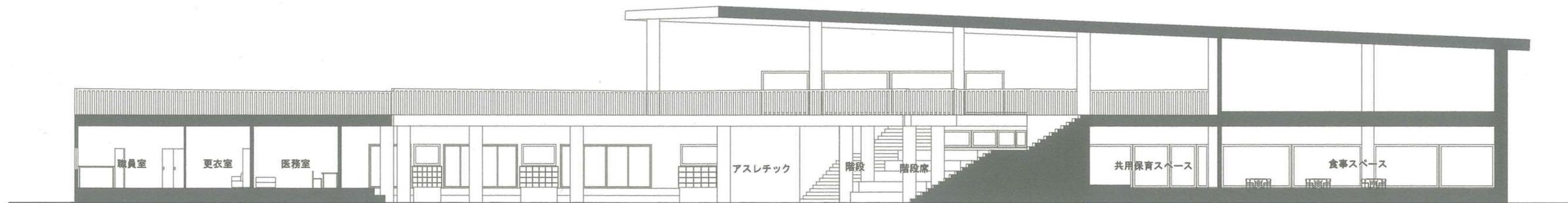
- 成長
- ・ 体力の増進、運動能力の向上
 - ・ 自発性や積極性が身につく
 - ・ コミュニケーションの取り方マナーが身につく



滑り台

屋上と中庭を、滑り台でつなげることで、遊び、避難用として使用できる。

- ・ 階段を上らないといけないため 運動能力を鍛えられる
- ・ 上手く滑るには姿勢が大切なため バランス感覚が鍛えられる
- ・ 滑るときのスリルで脳に刺激をあたえ、思考力を鍛えられる



D - D断面図 1 / 150

半屋外の大階段

中庭から屋上につながる階段。

- ・ 遊び疲れた時、保育士や保護者が中庭を眺められる階段席を設置。
- ・ テラス下に窓を設置したことにより内から外、外から内を見ることができる。

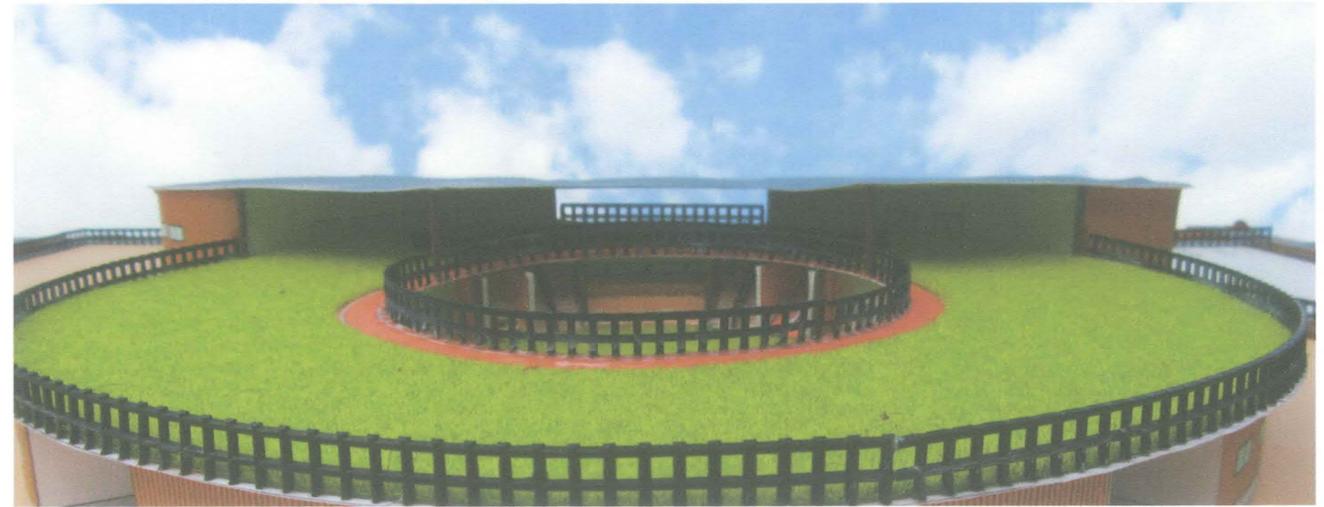


庭を眺められる食事スペース

- ・ 大人数で楽しく食事ができる。
- ・ 大人数で食事することにより コミュニケーション鍛えられる。
- ・ 開放感のある大きな窓から、ウォーターガーデンが眺められ、心をやすらげる。



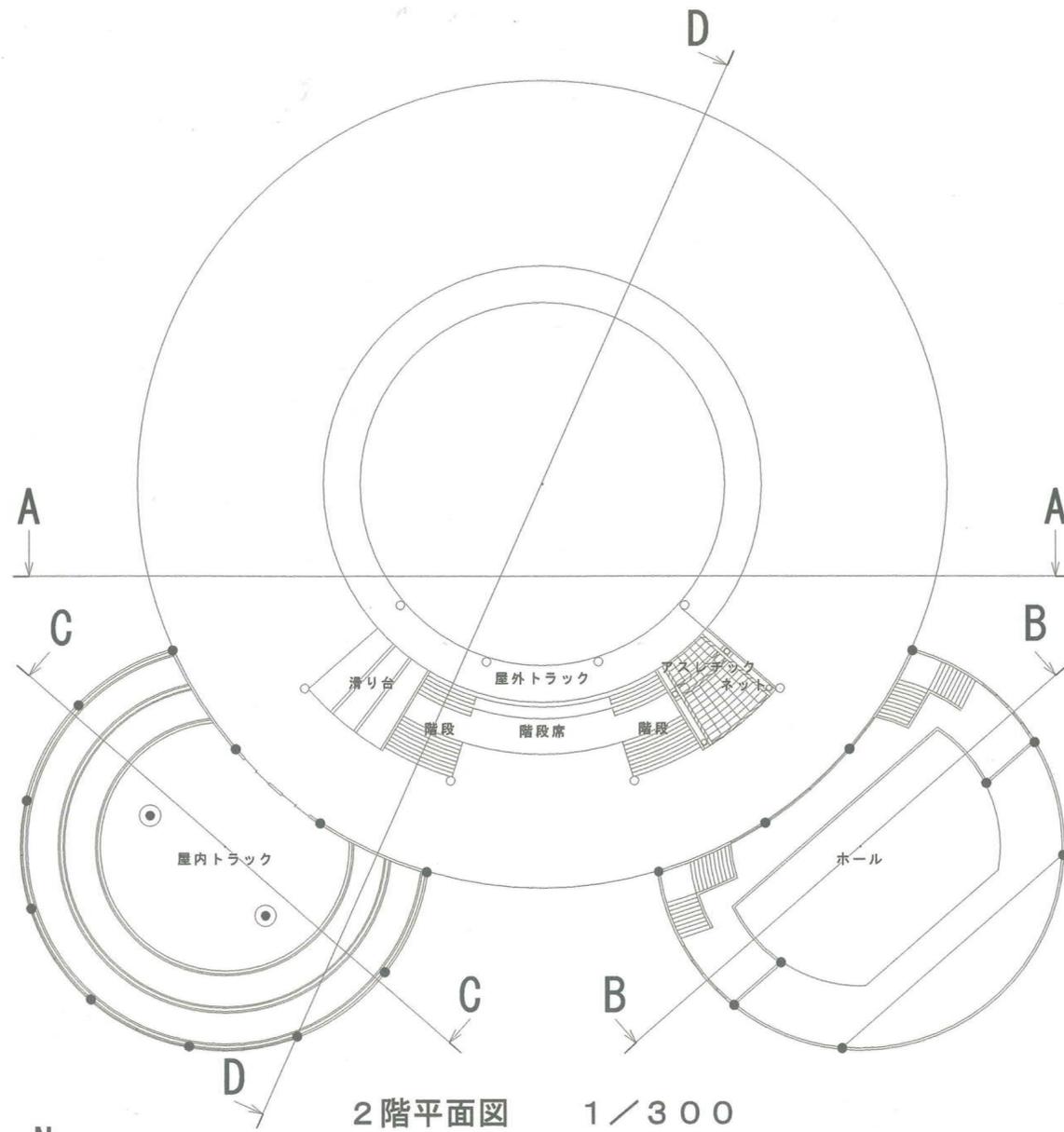
屋上トラック



- ・屋上にトラックを設けたことにより青空の下で走り回ることができる
- ・ゴムなので走りやすい
- ・春には、この町一番の祭りが近くで行われ、屋上で眺めることができる

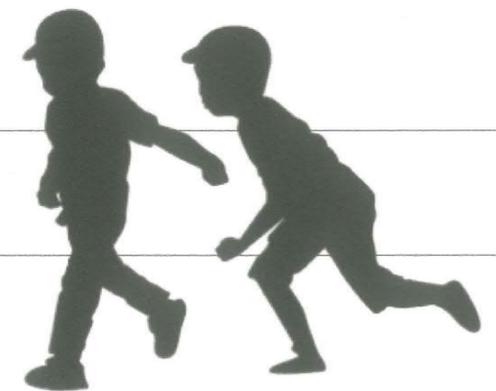


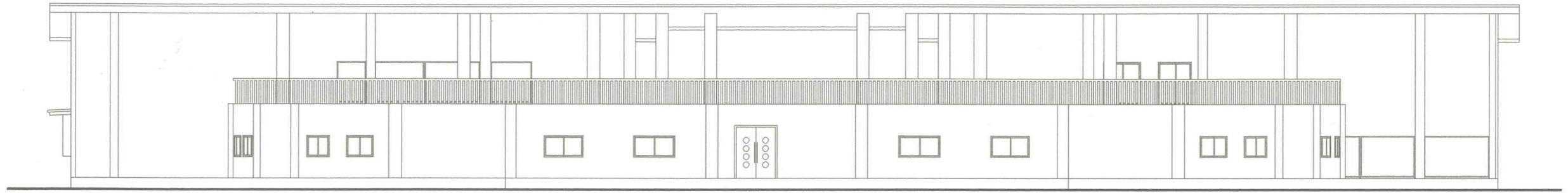
- ・屋上からホール内の様子を見ることが可能



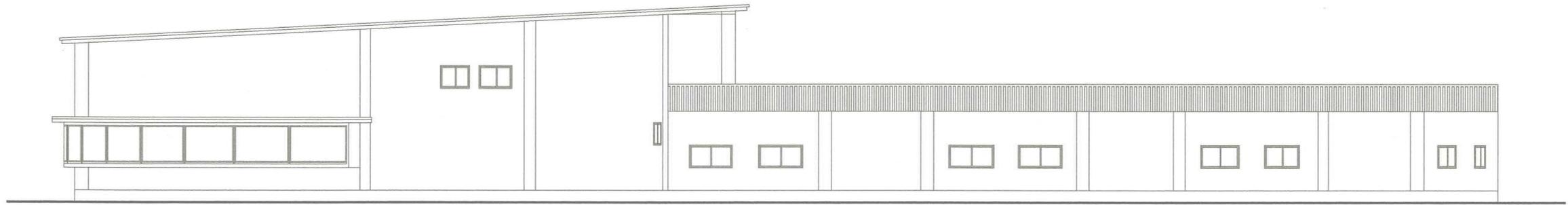
屋内トラック

- ・雨天時でも走り回れる。
- ・ゴムなので走りやすい。

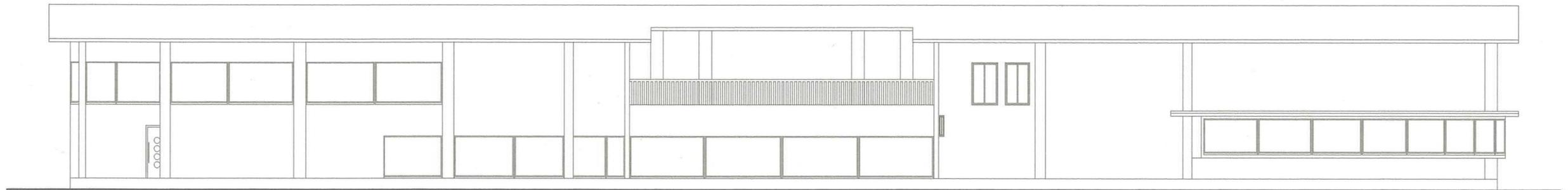




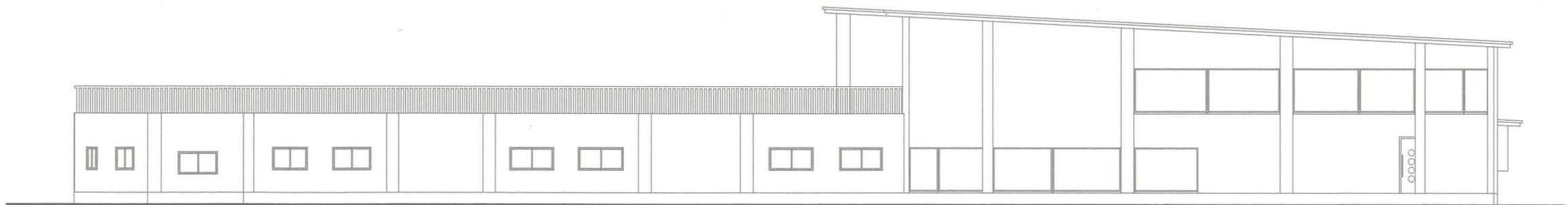
北立面图 1 / 150



東立面图 1 / 150



南立面图 1 / 150



西立面图 1 / 150